



小樽市花園「樽」

店主 中島 敏博さん



「今と昔の学生の違いを探れ」これが目標を達成すべく、私たちの大先輩である中島さん*1が経営されている「樽」へと向かいました。はてさて、その目標が一体どれだけ達成されているのか。是非、自分の目で確かめてください...

樽に入ってまず、私たちがしたこと、それは沈黙*2することでした(苦笑)なぜなら、何を質問するかを考えていなかったのです。というよりも、何を取材するかさえも知らない人が多数*3。しかし、ここで挫けてはならないと思い、「今の商大生に対してどのような印象を持たれていますか?」という質問をしてみました。すると、「品がいいよね。」というお答え。いやいや、ずいぶん私たちを観察しているなと思いきや、「今の商大の中でも、かなり品の良くない奴*4を連れてきたつもりなんだけどなあ。はっはっはっは*5。」と、横から先生の声。そうそう、紹介するのが遅れましたが、私たちがあまりに心配だったのでしょうか。はたまた、自分も飲みに行きたかったのか*6商大教授のE先生も今回この取材に同行されていました。

その後、だんだんお酒と中島さんのお人柄のお陰で口も軽くなり*7、色々な質問をぶつけてみました。とりあえず、その質問を対話方式で並べてみました。

私「今と昔の学生の違いって、一体なんですかね?」(そのまんまの質問だ...)

中島さん「いやあ、何も変わって

ないでしょう。若い人は変わるわけ無いからね。変わったとすればそれは、大人と時代だよ。」(大人と時代があ。かっこいいなあ。)

E先生「そうそう、だから今の大学生を見ると、気持ち悪くなるよ*8。」

中島さん「大学時代は、好きなことを一つ*9、一生懸命やるのが大切なんだよ。そうすれば道は拓けるかも知れない。」(好きなものが。今は、勉強とかで手一杯になることが多いからな。なかなかこういうことを言ってくれる人って少ないよなあ)

E先生「そうそう、拓けるかも知れないし、拓けないかも知れない*10(笑)」(先生、そんなに進んでおちを言わなくてもいいのに。)

私「昔の学生って、何をして遊んでいたんですか?」

中島さん「遊びしかなかったな(笑)酒飲んで、博打してって感じてね。博打といっても、今みたく競馬やパチンコじゃなく、麻雀だったな。昔は、麻雀するところがたくさんあってね。パチンコもあったけど、今みたいのじゃなくて、一玉ずつ打つようなやつね。一回勝っても300円くらいしか儲からなかったんだよ。」

と、こんな和やかな雰囲気取材は

進んで行きました。もっと書きたいことはあるのですが、少しだけ感想を書いて締めたいと思います。一番感じたのはとりあえず、商大生は酒がつくづく好きなんだなということ。あと、何を聞くのかも考えずに行った間抜けな*11私たちに、大変優しく対応してくださったOBがいるということが、商大の一番のいい所だと思いました。Y先生の「俺の岩清水が飲めないのか!」という学生時代の迷言(さすがに今は言わないけどね...)も聞けましたし、今回は大変楽しい取材になりました。中島さんはもとより、プライベートでいらっしゃったY先生、そして付き添ってくださったE先生、大変ありがとうございました。

(2001年11月取材 N記)

*1 昭和37年入学。ちなみに私は、昭和55年生まれ。
 *2 羊
 *3 取材へ行った人 5人 取材内容を知っていた人 2人
 *4 私以外。たぶん、先生も含まれているに違いない。
 *5 HAHAHAHAHAHAH!
 *6 たぶん、正解。
 *7 頭も軽くなり。
 *8 先生、それは飲み過ぎです!
 *9 好きな人ならいるんだけどなあ(照れ)
 *10 どっちだよ!
 *11 私以外の人達のこと。

「大学時代は好きなことを一つ 一生懸命やるのが大切なんだよ」

